

平成31年度(令和元年度)「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区 名	城東区
学 校 名	森之宮小学校
学校長名	松田 光平

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただきため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、児童の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・森之宮小学校では、第6学年 12名

平成31年度(令和元年度)「全国学力・学習状況調査」結果の概要

- ・教科の平均正答率は国語、算数とも全国平均を上回り、良好な結果であった。
- ・平均無回答率も国語、算数とも全国平均より小さく、学習への意欲が高い良好な結果であった。
- ・児童質問紙では「学校のきまりを守っていますか」「いじめはどんな理由があってもいいことだと思いますか」という質問の肯定的回収率は100%であった。それ以外の質問も全国平均に比べ良好な結果で、子どもたちは、規範意識が高く、熱心に学習に取り組んでいる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

- ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の4つのどの領域も平均正答率が全国平均を上回っており、特に「話すこと・聞くこと」「読むこと」においては90%を上回る結果となった。継続的に思考力・判断力・表現力の育成と活用をめざし、授業実践を重ねてきた成果であると考える。

〔算数〕

- ・「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の4つのどの領域も平均正答率が全国平均を上回っており、特に「図形」「数量関係」においては90%を上回る結果となった。国語科の学習で培った力を基盤に、放課後学習、習熟度別少人数授業の充実、朝の基礎学習などを続けてきた成果であると考える。

質問紙調査より

- ・「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問に100%の肯定的回収率であることから、子どもたちに自己肯定感が育まれていると考える。
- ・「5年までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」「5年までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか」という質問に100%の肯定的回収率であることから、子どもたちは主体的・対話的に授業にのぞんでいたと考える。

今後の取組(アクションプラン)

- ・小規模校のため、学年の児童数が少ないので、平均正答率だけで学力を図るのではなく、普段の学習の状況を含めて学力向上について考える必要がある。
- ・めあてに対する自分の考えを発表し、話し合いや交流活動を通じて、論理的な考え方や表現力を育成する授業を実践する。
- ・放課後学習や習熟度別少人数授業で個に応じた指導をおこなう。
- ・出前授業や施設見学など多様な体験学習を実施することで、豊かな感性を育て学習意欲を喚起する。
- ・生活と学習の振り返りカードを定期的におこない、児童の基本的生活習慣(忘れ物をしない、早寝早起き、朝ごはんを食べるなど)の定着と学習規律(宿題をする、ノートを丁寧に書く、授業中先生の話や友だちの発表を聞くなど)を徹底する。
- ・互いの違いを認め助け合い、高め合うことのできる集団育成と一人ひとりに寄り添った児童理解を続けることで、安心安全な森之宮小学校の教育活動を推進する。

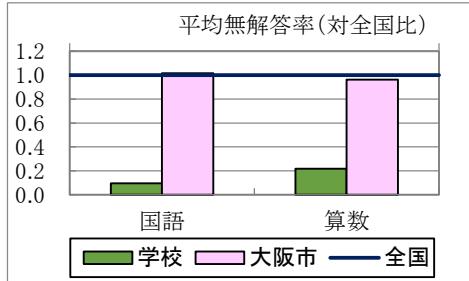
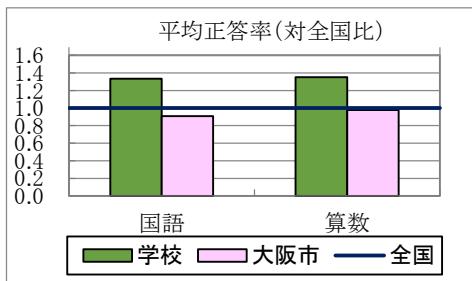
【 全体の概要 】

平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	85	90
大阪市	58	65
全国	63.8	66.6

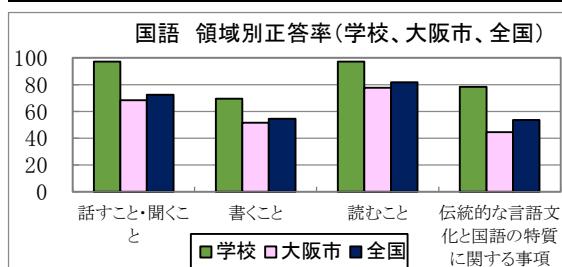
平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	0.6	0.6
大阪市	6.3	2.6
全国	6.2	2.7

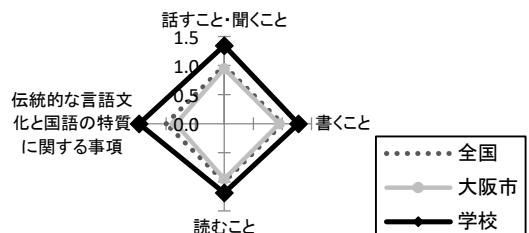


【 国 語 】

	対象設問数(問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	97.2	68.3	72.3
	書くこと	3	69.4	51.5	54.5
	読むこと	3	97.2	77.7	81.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	5	78.3	44.6	53.5

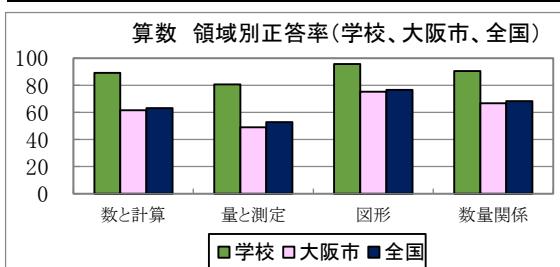


国語A 領域別正答率(対全国比)

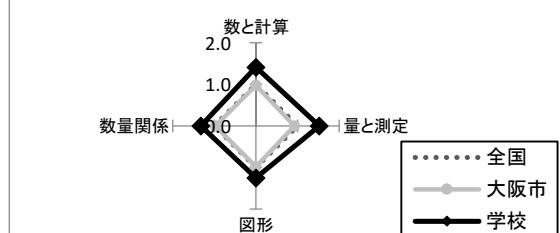


【 算 数 】

	対象設問数(問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	数と計算	7	89.3	61.7	63.2
	量と測定	3	80.6	49.0	52.9
	図形	2	95.8	75.3	76.7
	数量関係	7	90.5	66.7	68.3



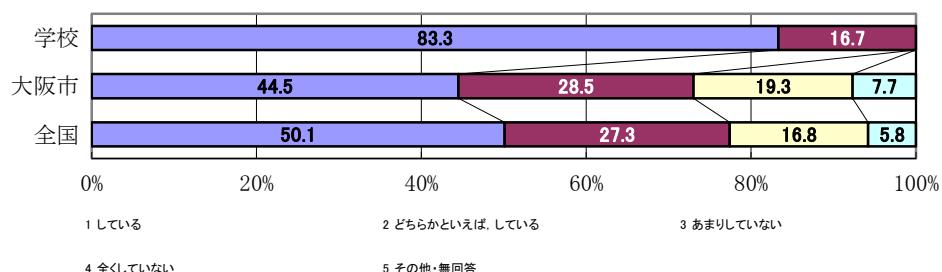
算数 領域別正答率(対全国比)



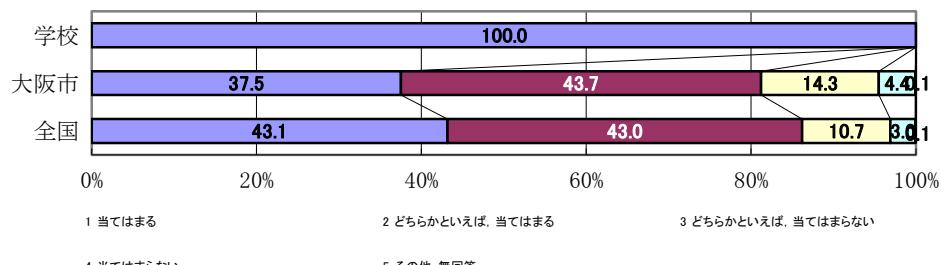
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

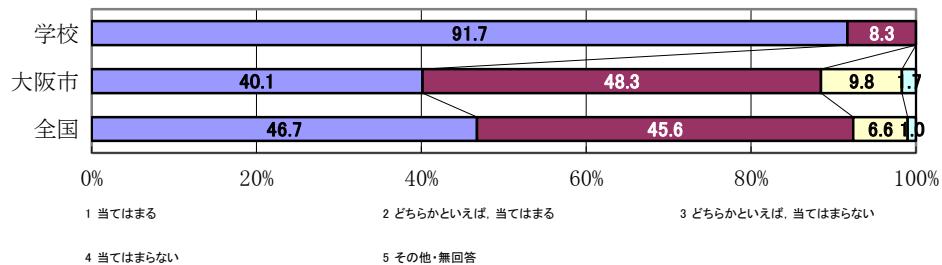
質問番号
質問事項
4
家人の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか



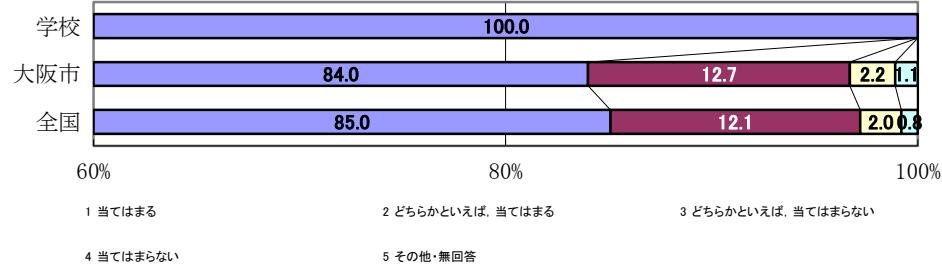
6
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



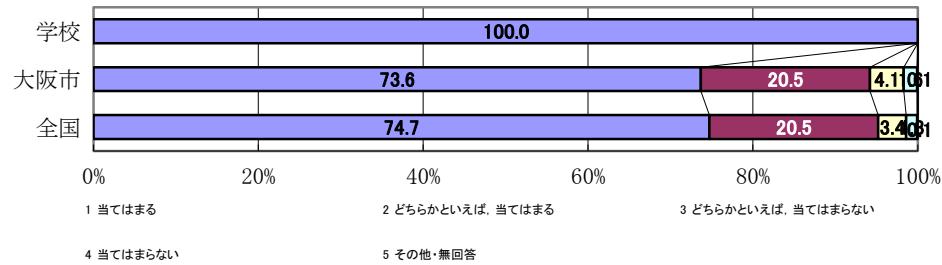
13
学校のきまりを守っていますか



15
いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



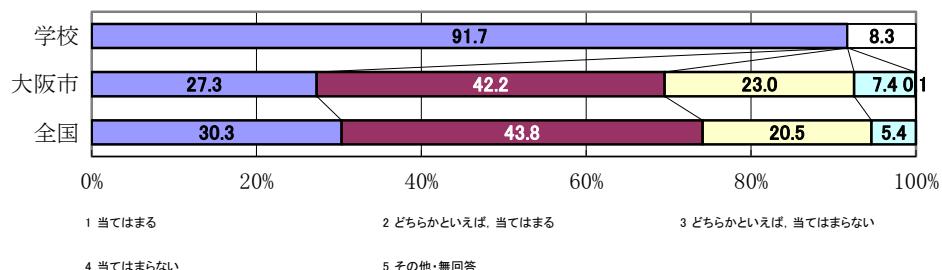
16
人の役に立つ人間になりましたいと思いますか



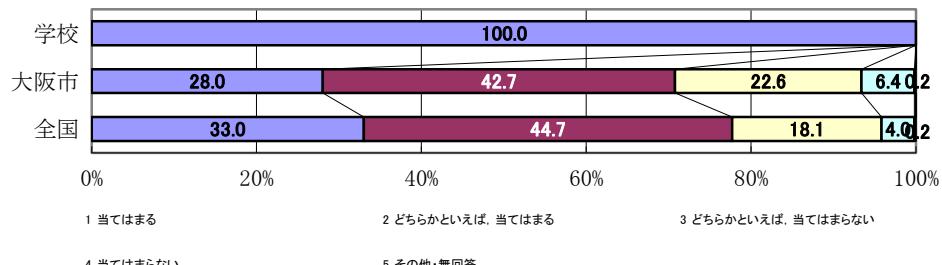
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

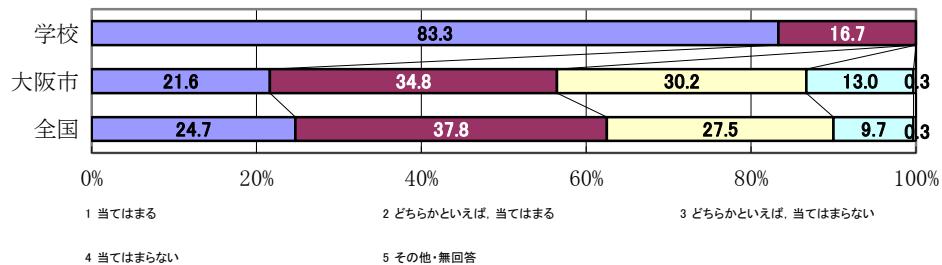
質問番号
質問事項
29
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか



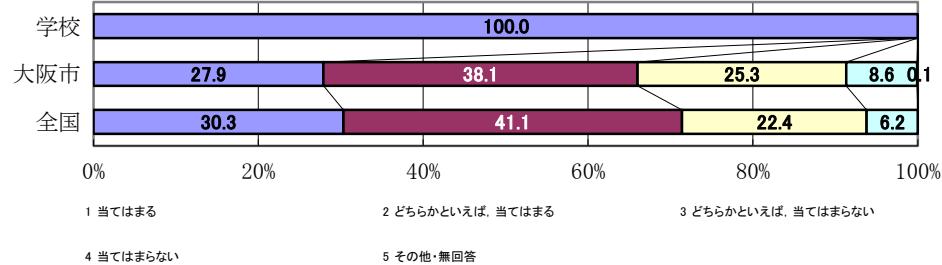
35
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか



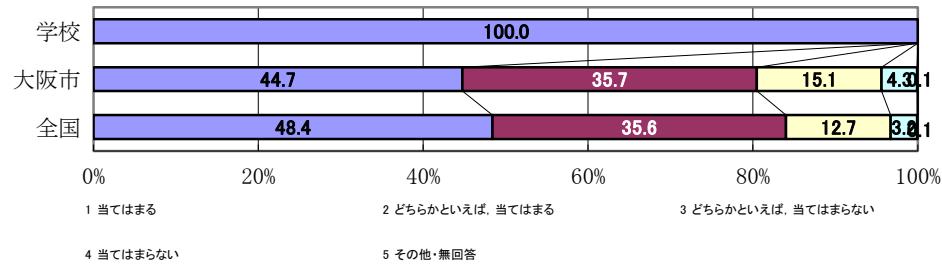
36
5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文書、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか



44
国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけて、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか



54
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか



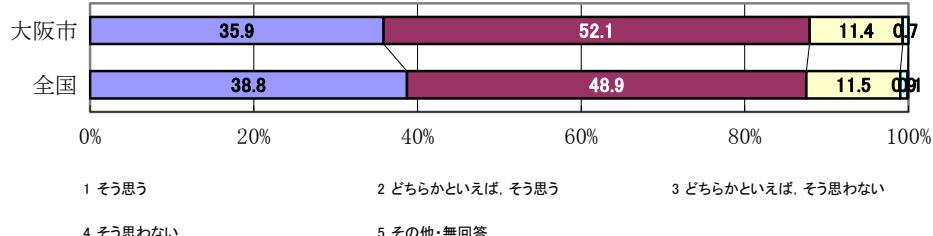
学校質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項
9

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

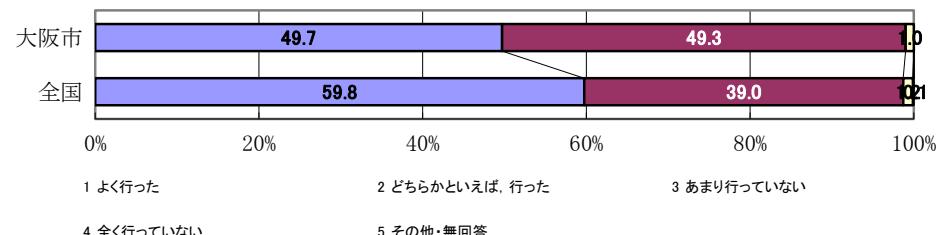
学校 「そう思う」を選択



質問番号
質問事項
14

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか

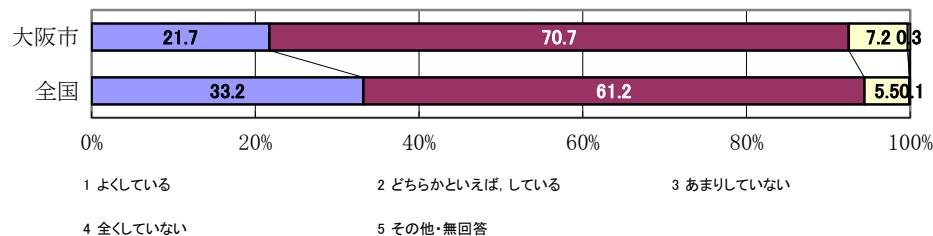
学校 「よく行った」を選択



質問番号
質問事項
27

教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか

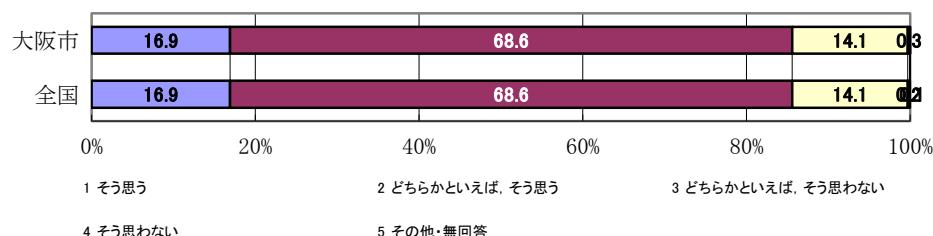
学校 「よくしている」を選択



質問番号
質問事項
32

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

学校 「そう思う」を選択



質問番号
質問事項
49

調査対象学年の児童に対する指導において、前年度に、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板など)などのICTを活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択

